

第 9 回草津市総合計画審議会 (主な意見とその対応)

○公開資料について

主な意見	事務局回答及び考え方(案)
<ul style="list-style-type: none"> ● 文調が混在しているので、整理されたい。また、誤字脱字についても再確認されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて確認・修正致します。

(1) 国土利用計画のパブリックコメントの実施について

主な意見	事務局回答及び考え方(案)
<ul style="list-style-type: none"> ● この先 10 年間に 14,000 人程度しか人口は増えない見込みなのか。その根拠を改めて教えていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本構想に示した推計と同一の内容であり、コーホート法による推計を行っています。 ● 推計にあつては、見込まれる開発人口を含んでおり、また、大学生については定数として扱っています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 計画の項目立ての順番が、章ごとで異なっている。可能なら揃えた方がよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 県の計画等と整合をとりながら、再構成します。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「適正」「適切」に努めるなどの記載が多いが、具体性に欠ける。むしろ、ここでは「適正」「適切」と記載しなくてもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な内容については、国土利用計画を踏まえた都市計画マスタープランなど、個別計画で図っていきます。 ● なお、ご指摘を踏まえて確認・修正致します。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「美しくゆとりある」「うるおい」「環境保全とうるおい」など、関連内容が別の表現となっているので、揃えられたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえて確認・修正致します。
<ul style="list-style-type: none"> ● 利用区分ごとの市土面積の目標の表で、農地が住宅に転用されるということは、人口増を見込んでいるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既に見込まれている開発を勘案しています。

(2) リーディング・プロジェクトと地域経営の方針(案)について

主な意見	事務局回答及び考え方(案)
<ul style="list-style-type: none"> ● 草津川廃川敷地について、廃川で水がないところについて、「水」によるうるおいと表現することは妥当か。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境整備にあつては、緑の潤いなども想定に含まれます。河川としての水に限った表現としていません。
<ul style="list-style-type: none"> ● 国土利用計画の土地利用構想図をみると「森林」は非常に少ない。総合計画で水と緑のうるおいを強調しているが、どう整合を考慮するのか。「農地」は四季を通じて緑というものではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート調査等にもみる市民の意識なども踏まえて、「農地」についても緑と捉えています。 ● 図面上の色で緑が少ないが、農地は黄色、河川林を含む公用地等も灰色になっています。

<ul style="list-style-type: none"> ● リーディング・プロジェクトで、市民文化に係る所管課が一元化されていないし、それぞれの所管課の役割分担が不明確で、文化を通じたまちづくりを進めていく体制となっていないように思う。 ● 文化を通じたまちづくりを、市外へ発信する姿勢がみえない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化活動拠点については教育総務課が主担当になっていますが、担当課と調整しながら検討しています。 ● 組織体制は現行体制であり、策定した計画を推進するにあたって、関係各課の連絡・調整を密にし、必要時にはプロジェクトチームの設置など、分野横断的な対応を適切に図っていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 草津市では、子どもたちが文化芸術活動面でとても頑張っている。その点を強調してほしいと再三審議会ですべていっているが、反映されていないように思う。それら様々な取り組みを、どう連動させどうコーディネートしていくのか、みえない。「子ども芸術祭」などの表現があるとよい。 ● 芸術家も多く住んでおり、市民の文化力は非常に高い。これをもっと生かしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 総合計画の中の文化の位置づけを強化しようとして図っている段階と考えています。 ● 文化振興の内容については、子どもの視点も含めて、この基本計画を踏まえた施策推進のなかで検討していきます。 ● まずは、(仮称) 芸文祭「くさつ」開催事業と文化芸術活動の支援を図っていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 財政見直しにおいて、借金は増えていく方向と考えているのか。 ● 厳しい財政状況を踏まえて、施策に優先順位をつける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 借金の増加は、概ねないと考えています。 ● 優先順位の表現として、リーディング・プロジェクトを設定し、主要事業の位置づけを行っています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 再開発事業など、具体的な内容はどこに含まれるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本計画の分野別計画のなかで、踏まえた記述としています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 草津市では、かなりの人口増が見込めるので、危機感が薄くなっているように思う。地域経営の方針のなかで「行政の役割」の縮小とその明確化が必要である。それによって、行政の仕事と社会の仕事の切り分けができる。 ● 行政の役割は、突き詰めれば、ある種社会のセーフティネットである。そのため、徴税などの「権力」を持っている。 ● 「新しい公」は「新しい公共」としたほうがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「行政の役割」でしっかりと明確化していきます。 ● ご指摘を踏まえた再整理・修正を行っています。→ 「地域資源が生かされ、住民力などが十分に引き出され発揮される仕組みを充実させながら、市民や民間でできない公共的活動を、健全な行政運営に努めます。」
<ul style="list-style-type: none"> ● 「 」で示されている言葉があるが、これは強調と捉えてよいか。全体を通じた整理が必要かもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 強調等です。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「子どもが学校を好きになる」という目標は適当でないと思う。「ふるさとを好きになる」なら本来的だと思うが。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既の実施している学校評価のアンケート調査の項目を踏まえています。 ● 教育分野の目標であることがわかるような表現とする必要があると考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域経営に関して、「カネ」ではないサービスをどう捉えるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「カネ」ではないサービスの地域力の見直しについては、特に、地域経営の方針において、行政の役割で、地域資源が生かされ、住民力などが十分に引き出され発揮される仕組みを充実させるものとしたしました。

● プロジェクト名については、より適切な名称となるよう工夫する方がよい。	● 削除してはどうか。
--------------------------------------	-------------

(3) 基本計画(案)について

主な意見	事務局回答及び考え方(案)
● 「ゴミ袋の有料化」が、市民の関心をよんでいるが、含まれているのか。	● 基本計画のなかに含めています。具体的な表現については、実施に係る検討の状況を踏まえてまいります。
● 男女共同参画の分野の成果目標で「喜び」について下に注釈があるが、この目標ではわかりにくい。再検討されたい。	● 担当課の人権センターと調整し、注釈を削除いたしました。第3次草津市男女共同参画推進計画の目標を「男女がともに喜びと責任を分かち合える」としており、その整合の観点から、達成目標は「男女がともに喜びと責任を分かち合える！」といたします。
● 教育の分野で、学校教育の充実とあるが、先生は事務等に追われて、保護者と話す時間は10分/年程度である。 ● 学力強調の記述内容にも違和感がある。行政の行動として示されている内容とも不整合であるので、自然や地域の文化、伝統などにふれる機会を充実させるなどの視点を重視されたい。	● ご指摘を踏まえて再整理しています。 → 草津の自然や文化を生かした体験型の学習活動を通じることで、子どもにふるさと草津の心を育むとともに、学力向上プログラムに基づいて子どもの確かな学力や生きる力の育成を図ります。
● 行政、市民、地域、事業者など、各主体のあり方について、各担当課の認識にズレがあるように感じる。また、民生委員児童委員や健康推進員など専門人材の位置づけも整理が必要かと思う。 ● 「協働」の捉え方も、課によって違うのではないか。	● ご指摘を踏まえて「協働の推進において」を「協働の視点」とし、庁内の共通認識を形成するための内容としました。専門人材については、「市民・地域」に係る主体として整理しました。